

関西新幹線サービックと団交開催!

8月23日、地本は、(株)関西新幹線サービックとの団体交渉を開催しました。組合側からの参加者は、浦谷地本副委員長、下茂業務部長、熊沢組織担当部長、西村台車検査車両所副分会長。サービックからは、鈴木人事勤務課課長、市川人事勤務課係長、宮崎事業部部長代理でした。

JR東海会社の意図した夜勤指定の事実が明らかになる!

団交は、7月1日より関西サービックへ出向した3名の組合員に対して一方的に夜勤勤務の撤回を求めた内容でありました。健康状態と、往復4時間の遠距離通勤については組合による抗議、仲間と共に職場で訴えた結果、日勤へと変更となっていました。しかし、今回の問題となったサービックの姿勢について今後の改善を求めました。

団交の中では、「診断書を出せば就労条件としての諸要素として加味する」「遠距離通勤と夜勤撤回の背景は納得」「就労条件の説明をするのはJR」「夜勤指定の判断はサービック会社」「(JRからの説明は)100%伝わってるか定かでない」等が確認されました。

特に、JRが本人へ出向先の労働条件の説明を行うべきところ、実際は説明がなされていない事実、また、本人がJRの上司に申告した内容もサービック会社に伝わっていない事実が明らかになりました。



奮闘した4名の団交委員
(右から西村、熊沢、下茂、浦谷さん)

今回の問題は、サービック会社の対応だけでなく、JR東海会社の対応が招いた結果であることが明らかになったのです。

本人の健康状態、通勤事情などの諸条件は、新たに就く出向先の労働条件を決める重要な事柄です。会社は本人の意向を出向会社に伝えず、本人や家族のみならず出向会社や出向先の社員に迷惑をかけた事を認め、謝罪するべきです。

**私たちは、出向先の労働条件の改善を求めて、
申し入れ、交渉を継続していきます!**